

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋食肉市場株式会社】

経営健全化方針の記載内容	令和2年度の取り組み結果
[市] 債務超過解消のために市支援や経営改善の指導を継続する。	債務超過解消の早期回復に向けて経営改善の指導を行うとともに、CSF（豚熱）による集荷及び経営への影響を注視しながら、特別集荷促進事業補助などの支援をした。
集荷経費の削減 - 出荷奨励金等の引き下げを出荷者と調整し、経費の削減に取り組む。 - 出荷懇請による集荷を強化する地域について、輸送経費助成など集荷経費の負担が大きい遠方から、集荷経費の負担が少ない近隣へシフトしていくことにより、利益の増加を図る。	- 出荷者と協議し、近隣やその他の産地への出荷奨励金の見直しに取り組んだ。 - 近隣の銘柄牛であるみかわ牛銘柄推進協議会の立ち上げを、出荷者・買参人とともに取り組んだ。
新規事業の検討 - 卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益を拡大するため、国の推奨する輸出事業やITの活用の可能性を含め、新規事業への取り組みを検討する。 - 新たに部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性向上、新規買参人の開拓を図る。	- 卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益の拡大などの可能性を含め新規事業の検討を進めた。 - 子会社を通じて部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性の向上に努めた。
人件費の抑制 正規職員数を見直し、嘱託・臨時職員を活用することで人件費の抑制を図る。	正規職員数の見直しをするとともに、現場の人員確保について嘱託を活用するなど、人件費の抑制に取り組んだ。
ブランド牛の活用 出荷者・買参人を交え、ブランド牛の強化に取り組み、取引単価の上昇・市場価値の上昇を図る。	出荷者・買参人とともにみかわ牛銘柄推進協議会の立ち上げに取り組んだ。
その他 引き続き、資金需要に応じた借入による支払利息の縮減、販売管理費の節減など経費削減に取り組むとともに、与信管理強化による債権管理につとめ、出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組む。	与信管理強化による債権管理を行い、資金需要に応じた借入をし、支払利息の縮減による経費削減に取り組んだ。

団体名(名古屋食肉市場株式会社)

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産総額	3,435,033	3,482,618	2,977,778	3,050,593
負債総額	4,671,091	4,532,066	3,919,508	3,878,077
純資産総額	▲ 1,236,058	▲ 1,049,449	▲ 941,730	▲ 827,484

(損益計算書から)

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	7,066,440	7,102,783	6,720,117	6,136,305
経常費用	6,890,815	6,894,376	6,576,860	5,983,167
経常損益	175,625	208,407	143,257	153,139
経常外損益	8,044	48,282	12,771	13,567
当期純損益	119,900	186,609	107,718	114,246

○財政的リスクの状況

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
債務超過額	1,236,058	1,049,449	941,730	827,484
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
標準財政規模(B)	642,220,441	644,498,894	646,827,243	654,510,356
(A)／(B)	0	0	0	0